

第 11 回定時社員総会を開催

メインスローガン

- 社会的セーフティネットを強化して貧困や分断をなくし、コロナ危機を乗り越えよう！
- 教育費負担を軽減し、だれもが安心して学べる社会を実現しよう！
- 労働者自主福祉運動の役割を発揮し、地域に共助の輪を広げよう！

総会は、6月21日（水）午後3時より、ピュアリティまきび（岡山市）において、招集社員数14名に対して11名（委任状3）の参加を得て開催されました。

金澤副会長の開会挨拶につづき、議長に中国労働金庫の小森智子氏、議事録署名人に日本労働組合総連合会岡山県連合会の小林陽一氏を選任して、議事に入りました。



小森智子氏

はじめに、森信之会長が岡山県労福協を代表して、岡山県並びに連合岡山の来賓各位に本総会への出席と日頃の協力に対して感謝の意を述べるとともに、地区労福協の皆さま方の各地区での労福協活動に対するご尽力に敬意を表しました。



森 信之氏

続いて来賓挨拶に移り、岡山県産業労働部 庄英利次長ならびに連合岡山 頃末昌宏副会長よりご祝辞をいただきました。

このあと、「2022年度活動報告」について木村事務局次長より報告し、「2022年度事業団体報告」



黒川智生氏

として、中国労働金庫からは黒川智生監事、こくみん共済coop岡山推進本部からは吉葉均理事、岡山県生活協同組合連合会からは大同久人理事よりご報告を受けました。

続いて議案審議に入り、第1号議案「2022年度

収支決算報告・公益目的支出計画実施報告および監査報告」について、満場一致をもって可決・承認されました。



吉葉 均氏

また、休憩ののち、堅田裕之専務理事より「2023年度運動方針」、池上俊昭事務局次長より「2023年度予算」について報告し、引き続き第2号議案「2023年度社員の会費について」の審議を行い、満場一致をもって可決・承認されました。



大同久人氏

第3号議案その他は特になく、「スローガンの採択」を行い、議長が午後4時55分に閉会を宣言しました。



閉会に際して二宮副会長から挨拶があり、第11回定時社員総会を終了しました。

